

令和4年 堅果類（ドングリ）の豊凶調査結果について

1 堅果類（ドングリ）の着果状況について

秋のクマの主食と考えられるブナ、ミズナラ、コナラの実の豊凶調査の結果、**ブナ不作、ミズナラ不作、コナラ並作**となりました。

2 ツキノワグマ出没の可能性について

大量出没と関係が深いブナとミズナラは2種とも凶作となった過去の大量出没年(H18, 22, R元)より作柄が良く、里山に生育するコナラは並作です。

この結果から、**今年の秋はクマが平野部へ大量出没する可能性は低い**と考えられます。ただし、ブナ、ミズナラにおいては凶作の地点もあることから、**山裾の集落周辺を中心にクマの出没に警戒が必要**です。

3 森林研究所の樹種別着果状況調査結果（調査時期：ブナ8月、ナラ8月中下旬）

樹種	ブナ
作柄	全県 不作：凶作から豊作までばらつく
調査箇所	15箇所調査 ・境川、嘉例沢、馬場島、立山桑谷、立山ブナ平、有峰(下部、祐延、峠谷)、大長谷、山の神、細尾峠、菅沼、ブナオ峠、大門山、医王山
樹種	ミズナラ
作柄	全県 不作：凶作から並作までばらつく
調査箇所	16箇所調査 ・境川、嘉例沢、平沢、馬場島、芦峠寺、有峰(猪根、西岸、峠谷、東谷)、桧峠、牛岳、大長谷、山の神、細尾峠、西赤尾、医王山
樹種	コナラ
作柄	全県 並作：不作から並作までばらつく
調査箇所	10箇所調査 ・三峯、魚津、東福寺野、吉峰、猿倉、頼成、閑乗寺、医王山、俱利伽羅、五位

※作柄は豊作、並作、不作、凶作の4段階区分（健全堅果密度と着果指数に基づく）
（神通川を境に東側を県東部、西側を県西部）